



発行者 楽しい株式会社

住所 北九州市若松区向洋町10番1  
北九州エコタウン実証研究エリア内

ハチドリ通心(信)

Tel 093-752-5300 fax 093-752-5303

2011年2月号 E-mail ceres@fun-c.jp URL http://www.fun-c.jp

最近自らが、野菜の提供にとどまらず循環型農業を始められたお客様が増えてきました。レストランチェーンの「ぶどうの樹」(福岡県岡垣町)様やスーパーでは「にしがき」様(京都府京丹後市)等です。

当社は、このようなお客様へ、食品廃棄物を減らし、コストを減らし、二酸化炭素を減らす仕組みづくりのお手伝いをしております。今回は、その中の八百屋さん2件を紹介します。

## 自らが食のループを作り始めた八百屋さん



### 有限会社わかすぎ様 (長崎県長崎市)

長崎市を中心に青果卸、青果加工卸を始め、青果店や料亭まで幅広く経営されている八百屋さんです。

現在の青果卸の現状に強い危機感を持っており、これからは、環境に配慮し、循環型農業に取り組みたいという強い思いで、すでに一昨年から環境に配慮した減農薬の玉ねぎなどを栽培されていました。そんな折、新聞の記事で当社が開発した簡易堆肥化システムを知り、野菜残渣の堆肥化と循環野菜の栽培を始められました。

地域全体で食品廃棄物を減らしていかなければいけないという考えで、将来的には、同じコミュニティの事業所と共同で取組んだり、長崎市全体の取組みとして、堆肥化の中核になりたいとの思いもお持ちです。

農業の取組みは、まだ始めたばかりですが、年々収穫量も増えています。また収穫された野菜は、今は従業員に配られており、大変おいしいと評判です。



【かえるくん】  
平成22年4月設置  
野菜の減量・1次発酵

玉ねぎ工場  
(野菜加工工場)



循環野菜栽培



農地にて堆肥化 2次3次発酵

以前の野菜残渣処理経費 192万円/年

現在のリサイクル経費 153万円/年



### わかすぎ 浜地公一専務 インタビュー

微生物の働きで発酵分解するので、最初はなかなか加減がわからず苦労しました。うまく発酵分解するよう、米ぬかなどを入れたりして工夫しながら良い堆肥づくりに取り組んでいます。試行錯誤の日々ですが、少しずつ良い堆肥が作れるようになり、堆肥を使った野菜は、甘みが増したように感じます。

## 桑園青果株式会社様 (福岡県北九州市)

昭和52年に創業し、北九州市中央卸売市場を拠点として野菜果物の仲卸、量販店への青果物供給、北九州市指定による学校給食食材納入など地域に根づいた業務を行っています。また北九州一円の各種病院・企業内食堂へ青果物、業務用食材等、自社便で配送されています。

現在、高齢になり、広い農地を活用できない農家さんから土地を借り受け、「顔が見える農作物」を目指し、農家さんから指導を受けながら、特別栽培(減農薬)に取り組んでいます。

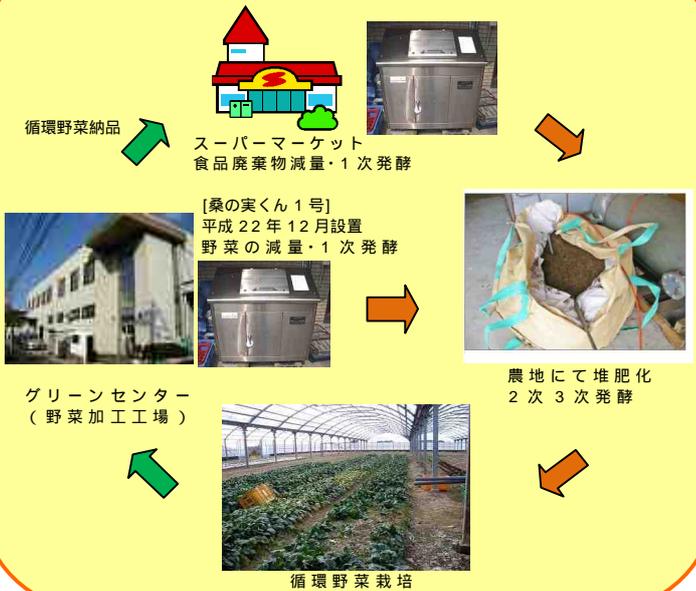
まだまだ農業を始めて2年程ですが、きゃべつ、小松菜、ほうれん草等収穫が出来始め、1部商品として出荷されています。

また以前から野菜残渣の堆肥化には興味をお持ちでしたが、一昨年からはそのための農地も借り受け、自社での堆肥化が可能になりました。

昨年末に当社の生ごみ処理機をグリーンセンターに設置され、野菜残渣の減量・1次発酵を行い、その後、自社農園にて堆肥化を行い、循環型農業に取り組まれています。

今後は、お客様(野菜の納品先)に、その場で生ごみを減量・1次発酵できる生ごみ処理機をおすすめし、こちらで2次・3次発酵、堆肥化を行い、その堆肥を活用した「循環野菜」をお客様に提供するという仕組みを考えておられます。

### 今後の循環のイメージ図



以前の野菜残渣処理経費 108万円/年

現在のリサイクル経費 72万円/年

コスト削減

### 桑園青果 吉村昇会長 インタビュー

野菜残渣や食品廃棄物からの堆肥作りにとどまらず、今後は学校の落ち葉を集めて腐葉土を作り、その腐葉土を使って、安全な野菜を作り、子供たちに収穫してもらったり、食材として提供できればと思っています。またグループに福祉施設もあり、将来的には施設の子供たちに農作業等をしてもらい、施設で野菜販売をしようと思っています。

ハチドリ通心は楽しい株式会社のホームページでご覧いただけます。  
URL: www.fun-c.jp/ をご覧ください。(竹村が担当しました。)